



国土交通省

NEWS RELEASE

国土交通省 近畿運輸局和歌山運輸支局

問い合わせ先

(所属) 和歌山運輸支局 運航・船員部門

(担当) 豊岡・渡邊

(電話) 073-422-0606

令和8年9月4日

「海の教室～フェリー乗船体験～」を開催しました！

和歌山市内の小学生が「海」「船舶」「船員の仕事」を学びました

和歌山運輸支局では海事関係団体との共催で、海事思想の普及及び将来における船員確保推進の一環として、「海の教室～フェリー乗船体験～」を当支局管内のフェリー会社の協力により開催しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 実施概要

日 時 令和8年8月19日(水) 8:25～15:40

場 所 南海フェリー株式会社 フェリー船内

【海の教室①(往路)】「フェリーかつらぎ」

【海の教室②(復路)】「フェリーあい」

対象者 和歌山市内の小学生(3年生以上)とその保護者 33名

主 催 近畿運輸局和歌山運輸支局、公益社団法人近畿海事広報協会、和歌山県海運協会、和歌山県海運組合、近畿内航船員対策協議会

後 援 南海フェリー株式会社、和歌山市教育委員会

2. 主な内容

【海の教室①(往路)】

“和歌山～徳島”間を航行中の「フェリーかつらぎ」船内にて次の講演を実施

演 題: 「海と船に関するお話し」

内 容: 海運の重要性をはじめ船舶の運航や船員の仕事の概要について分かりやすく説明

【海の教室②(復路)】

“徳島～和歌山”間を航行中の「フェリーあい」船内にて次の見学等を実施

内 容: 「船内見学」「ロープワーク体験」を実施

配布先

海事関係紙

「海の教室～フェリー乗船体験～」を実施しました

近畿運輸局和歌山運輸支局では、令和8年8月19日（水）、海事関係団体との共催で「海の教室～フェリー乗船体験～」を和歌山～徳島間を航行中のフェリーで開催しました。

この乗船体験は、海事思想の普及及び将来における内航船員確保推進対策の一環として実施しているもので、当支局管内のフェリー会社の協力を得て行い、また、当支局以外の主催者である和歌山県海運協会、和歌山県海運組合、公益社団法人近畿海事広報協会、近畿内航船員対策協議会と連携し例年開催しているもので、当日は和歌山市内の三年生以上の小学生とその保護者33名が参加しました。

今回の「海の教室～フェリー乗船体験～」は、和歌山～徳島間を約2時間で結ぶフェリーを運航している南海フェリー株式会社の「フェリーかつらぎ」と「フェリーあい」の船内において、往路（和歌山→徳島）及び復路（徳島→和歌山）にて、それぞれで行いました。往路では、08時25分発徳島行き「フェリーかつらぎ」に乗船した後、海の教室の開場にて、近畿運輸局和歌山運輸支局 松尾支局長による主催者挨拶、続いて南海フェリー株式会社 小林取締役社長様からご挨拶をいただき「海の教室」がスタートしました。

最初のメニューである「海の教室①」では、近畿内航船員対策協議会の白石構成員（白石海運株式会社 代表取締役専務）が講師となり、「海と船に関するお話し」と題して講演をしていただきました。



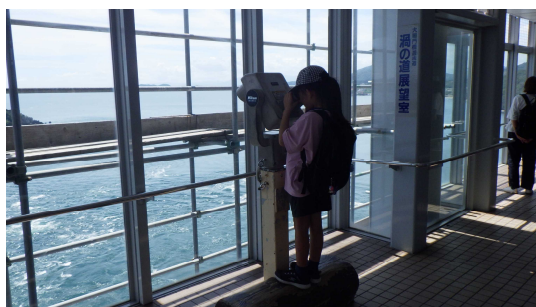
講演では講師が手作りしたパネルや船の形をしたプラスチック製組み立てブロック玩具を使って、海運や船員の仕事が身の回りの生活にどのように関わっているのかを紹介していただきました。また、子ども達が積極的に参加できるよう、海運に関するクイズを出題する形で行い、出題されるたびにたくさん子ども達から手が挙がり、今まで知らなかった世界の話に興味を持ってくれたようです。また、保護者の方々にも「船員の仕事」に関心を持っていただけたようで、将来の



船員確保に繋がる有意義な講演となりました。

講演後も講師の周りに子ども達が集まり、次々と講師に質問し、「海の教室①」の講演は盛況のうちに終了しました。その後、「フェリーかつらぎ」は定刻どおり 10 時 30 分に徳島港に到着し、下船しました。

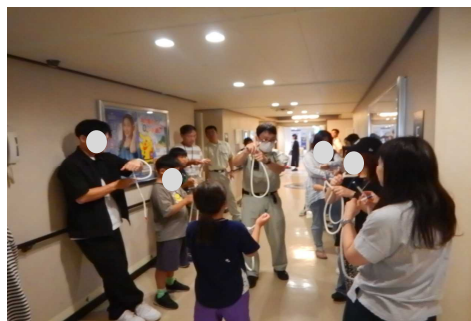
下船後は、さらに海に興味をもってもらうために徳島県鳴門市にある「渦の道」を参加者で訪れました。「渦の道」は鳴門海峡に架かる大鳴門橋の橋桁内に造られた海上遊歩道です。海上遊歩道は橋桁の補修工事のため、足場や防災シートが掛けられており、一部景観が遮られており、また、訪れた時間帯には小さい渦しかなかったものの、参加者は遊歩道から見る渦潮や景色に感激し、たくさん写真を撮るなど、楽しい一時となったようです。



「渦の道」の後は、徳島港に再び戻り、「フェリーあい」に乗船しました。復路では、「海の教室②」として、南海フェリー株式会社の船員の方から「船内見学」と「ロープワーク体験」を行っていただきました。

「船内見学」では、通常立ち入る事が出来ない船橋（船の操縦室）を特別に見学させていただきました。船橋では、子ども達は実際に舵に触れ、船員の方から舵の切り方を教えてもらったり、双眼鏡を使い周囲の見張り体験をするなど、船員の仕事を体験しました。

また、「ロープワーク体験」では、巻き結び・もやい結び・本結びの3種類の結び方について学びました。当初はなかなかうまく結べず悪戦苦闘していましたが、船員による丁寧な指導の結果、無事に結ぶ事が出来ました。アンケートでは、手芸や大縄飛びにも活用したいとのコメントが寄せられるなど、好評のうちに「海の教室②」を終了しました。



その後、子ども達は南海フェリー株式会社が用意してくれた船長服を着て、記念写真を撮るなどして、船旅を楽しんでいました。「フェリーあい」は定刻である 15 時 40 分に和歌山港に到着し、「海の教室 ～フェリー乗船体験～」を無事に終了しました。

今回の「海の教室」では、将来を担う子ども達に海運の重要性を知ってもらうことができただけでなく、「船内見学」等を通して船にも興味を持ってもらうこともできました。また、子ども達だけでなく、その保護者の方々にも参加していただきましたので、船員の仕事についても広く周知することができ、将来における若年船員確保の推進にも繋がったものと思われます。

最後になりましたが、当支局では今後も「海の教室 ～フェリー乗船体験～」をはじめとした様々な取り組みに力を尽くし、海事思想の普及や内航船員確保推進に努めていきたいと思っております。

(近畿運輸局和歌山運輸支局)